

進路だより



秋田県立秋田きらり支援学校
第1号
平成30年4月28日発行

『自立と社会参加』

秋田きらり支援学校 校長 新目 基

「自立と社会参加」という文言は、第二次秋田県特別支援教育総合整備計画や第三次整備計画の基本理念でもあり、多くの特別支援教育学校の教育目標にも掲げられています。

しかし、特別支援教育学校に在籍する児童生徒の実態や発達段階には個人差があり、そのため一人一人の「自立と社会参加」の姿や形、そしてそこに至るあるいは目指す道のりも違ってきます。私は、この「自立と社会参加」という文言を目にするたび思い出すことがあります。

それは今から30年前に、現在はありませんが本荘養護学校という病弱特別支援教育学校に勤務し、病院訪問の担当していた時のことです。ある日、私が担任している重度重複の生徒さんを学習室に連れて行くために病室に迎えに行くと、病院の担当の方がおむつ交換をしていました。するとその方が「先生、〇〇ちゃんね、この頃ちゃんと、おしりあげてくれるようになったんだよ。たいした楽になった」とお話ししてくれました。そしてそのあとに「これもこの人たちの社会貢献だな」と笑いながら私に話してくれました。

その当時私は、障害の重い子どもたちを目の前にして、自分に何ができるだろうかと迷っていた時期でしたから、この話はとても衝撃的でした。そして、この言葉によって自分が何をすべきかが見えてきた瞬間でもありました。

この4月から秋田きらり支援学校に赴任し、改めて「自立と社会参加」を考えたとき、このことが思い出されます。障害の軽重にかかわらず卒業後のその子なりの豊かな生活を目指して、学校はそれぞれの「自立と社会参加」に必要な力を、保護者の皆さんや関係機関と連携しながら見極め、提案し、一体となり構築しています。そのためにも多くの人々とつながり、つながりの輪が広がるような学校でなければならないと考えています。

本校の目指す生徒像の一つに「手をつなぐ」という言葉があります。様々なつながりを大事にしていくことが、児童生徒一人一人の「自立と社会参加」という大きな目標に結びついていくと信じて、学校づくりをしていきたいものです。

【平成30年度の進路指導部員の紹介】

進路指導部	主事	近江 美歩	高等部	柿崎 和恵
	副主事	高橋 聡		三笠 舞子
	小学部	田村 祐貴子		
		笹渕 恵理子		
		加藤 真依子		
	中学部	佐々木 龍雄		
		佐藤 亜樹子		



★進路に関する疑問、要望等ありましたら、学級担任または、進路指導部員にお尋ねください★

平成29年度卒業生 進路状況

この春、社会人となった卒業生12名は、新しい生活をそれぞれの道でスタートさせました。進路先は次のとおりです。



就職	進学	福祉サービスの利用			
		【療養介護】	【生活介護】	【就労継続支援 B 型】	【就労継続支援 B 型 と生活介護の併用】
由利本荘市 (公務員)	岩手県立 農業大学 校	医療療育 センター	㊤聖和・よつ葉 ㊤地域生活支援拠点 おおだて・こさか わいわいセンター ㊤デイサービスさく ら家・みなみ風デ イサービス	・アキタネット ・サポートスペー スそう ・やまどり ・りぼん	㊤由利本荘地域生活 支援センター・ほの ぼの岩城
1名	1名	1名	3名	5名	1名

- ・デイサービスさくら家とみなみ風デイサービスは「**基準該当事業所**」です。介護保険法の高齢者向けの施設で、障害者も受け入れている事業所です。
- ・㊤は、2つの事業者を併用して利用していることを示しています。併用する理由は**ケースによって異なり**、平成29年度の場合、「利用希望者が多いために、曜日によって利用する場所を変えたケース」と、「体力や送迎の都合に合わせて、風呂利用中心の日と軽作業中心の日とで使い分けているケース」があります。

【進路のてびき (P12~17) より ~サービスの内容について】

*療養介護とは

医療と常時介護を必要とする人に、医療機関で機能訓練、療養上の管理、看護、介護及び日常生活の支援を行います。

*生活介護とは

食事、入浴、排せつの介護等を行うとともに、創作活動や生産活動の機会を提供します。

*就労継続支援 B 型とは

就労機会や生産活動などの機会の提供、知識および能力の向上のために必要な訓練などを行うサービスです。

おらせ

★次号 (6月発行) の予定

中学部、高等部で行われる作業学習についてと、昨年度からの在校生保護者の皆様からいただいた、ご質問にお答えする予定です! (保護者アンケートより)

